



**緊急  
対策**

発行小平商工会 〒187-0032 東京都小平市小川町2-1268

小平商工会は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、国・東京都の  
事前に予約、または電話にてご相談ください **給付金・助成金の申請をお手伝いします!**

相談無料

TEL: 042-344-2311 午前9時～午後5時30分(正午～1時を除く 土日祝日を除く)

## 創設者である津田梅子が新5千円札の顔となる津田塾大学

### 産学連携で経済に活気を!

「変革を担う、女性であること」は津田塾大学の「Tsuda Vision 2030」に掲げるモットーですが、これは正に今の日本社会に求められていることかもしれません。小平商工会、鈴木庸夫会長がコロナ禍の中の津田塾大学を訪ね、産学連携について高橋裕子学長と早川敦子副学長に伺いました。

### COVID-19の中でも国際交流を止めない

**鈴木** コロナ禍の中での大学の状況はどのような感じでしたか。

**高橋** コロナ禍の中での授業対応は大変でした。2020年春、キャンパスに学生はおろか教職員も入ってはいけないというのは本学の歴史になかったことでした。当初はオンライン授業をどうやってやるのかと危ぶむ先生方も多かったのですが、「オンライン授業プロジェクトチーム」を発足させ、授業のリハーサルやサポートなどを手厚く行ったほか、必要な機材を教員や学生に貸し出しました。実際オンラインでやってみますと、先生方が非常に質の高い授業をしてくださりました。一方、辛かったのは国際交流という点で、学生たちを留学させられない、外からの受け入れもできないということでした。学生にとっては一生に一度のかけがえのない2年、3年の時期に留学の機会を喪失させてしまい、本当に残念でした。

**早川** コロナ禍でも国際交流を止めない方針で、海外からのオンライン授業も行いました。オムニバス形式で、今日はインドの孤児院の院長、明日はアメリカの歴史学者という具合に。これまでにない授業が可能になり、学生にアンケートを実施したところ非常に満足度が高く、逆にオンラインの良さが活かされたね。昨夏には政府の特例措置を適用して留学が可能になり、不安を抱えながらも勇気をもって10名の学生が手を挙げました。コロナ禍の中でもモチベーションをキープしてきた学生たちでした。到着してすぐには入国をできないかもしれないという中で、その勇気はあっぱれ。梅子先生のスピリットを受け継いでいます。留学前のワクチン接種がギリギリで、本学で職域接種ができなかったため、他大学に依頼して接種してもらいました。留学の機会を実現したいと必死の思いでした。

**高橋** 今、廊下立って中庭を見ますとね、花が咲くベンチで学生たちがお弁当を食べたり、輪になって話したりしているんですよ。その姿を見ると「ああ、こういうことができるようになった」という喜びをかみしめています。

**鈴木** そうでしょうねえ。大変なご苦労があったのですね。商工会でも3年ぶりに開催する産業まつりの計画を立てています。今回は市役所の立体駐車場を借りて、飲食はできないのですが、市内の商工業や地元企業の物販に加えて、地元大学のPRもやります。お声をかけますので、学生さんぜひご参加ください。



左から、早川敦子副学長、鈴木会長、高橋裕子学長

### 創立120周年の多彩な記念行事

**高橋** 本学は2020年に創立120周年を迎えましたが、コロナ対応で精一杯でしたので、式典は昨年、一部オンラインで行いました。今年10月のホームカミングデーで「田嶋陽子が語る『変革を担う、女性であること』」というタイトルで本学卒業生の田嶋さんと対談することになっています。他にも盛り沢山ですので、担当の早川先生、お話しになってください。

**早川** 秋に構内の交流館で、写真集『ひろしま』や『Mother's 2000～2005 未来への刻印』などで国際的に知られる、現代日本を代表する写真家、石内都さんの写真展を開催します。また本学のモットー「変革を担う、女性であること」をうけ、「高校生エッセイ・コンテスト」では記念事業としてアメリカ精神医学者であったエリザベス・キューブラー・ロスを取り上げます。『死の瞬間』の著者である彼女の言葉を手がかりに、「逆境を、創造を灯す光に」がテーマです。(募集期間は8月1日から9月5日)。キューブラー・ロスに多大な影響を受けられた山崎章郎先生(ケアタウン小平クリニック名誉院長)と朝日新聞記者との記念特別対談がYouTubeで公開されていますので、URL <https://www.youtube.com/user/tsudajyuku> ぜひご覧ください。記念行事は2024年の3月まで続きます。

### 産学連携で街を元気に

**鈴木** その後に新5千円札の発行と続くわけですね。私は小平に生まれ育ったので、地方に行って「小平ってどこなの?」と聞かれるのが一番悔しい。「新5千円札の津田梅子がつくった津田塾大学がある街ですよ」とお札を見せながら早く言いたいですよ(笑)。新5千円札の発行をきっかけに少しでも経済を良くしたいですね。コダイラブランドの認定に関しても、津田塾の学生さん方に地域参画事業として会議に参加していただいて、ご意見を聞かせてほしいです。スクラッチカード事業も学生さんたちに使ってもらえるよう取り組むつもりです。

**早川** そうそう、津田梅子が寮の学生たちに自ら作ってふるまっていたというお菓子があったというエピソードにもとづき、小平市内の洋菓子店が当時のレシピで復元してくれたのです。そこで学生たちのアイデアでその紹介文やロゴやお菓子の名前まで自分たちで決めて商品化の企画を立てました。まだ予約で作るという状況ですが、私たちもこの連携を通して、小平の経済を応援したいと思っています。

**鈴木** 産学連携でコダイラブランド全体パンフのデザインも作っていただきたいですね。本日は誠にありがとうございました。これからも小平商工会をよろしく願っています。

## 小平スクラッチカード 2022

1弾 2弾

500円のお買い上げ毎に  
カード一枚ご進呈(10枚まで)

小平スクラッチカード2022 Summer

当選総額 5000円

https://lakodaira.wixsite.com/scratch

小平商工会

今年度は2回実施します!!

下記のQRコードより  
対談の様子が  
ご覧いただけます



参加店舗で500円以上の商品購入、飲食、サービス等のお支払いにつき、500円ごとにスクラッチカードをお渡しします。(最大10枚まで) 500円～2,000円の当たり券で、次回のお買い物等からご利用いただけます。

配布・使用期間: 1弾: 令和4年8月22日～令和4年9月30日

: 2弾: 令和4年12月12日～令和5年1月31日(予定) なお、各店舗なくなり次第終了です。

詳細は、折込チラシ・商工会のHPにてご確認ください。

主催: 小平商工会 / 協力: 小平市

お問い合わせ

小平商工会